

新藤啓三

フェリス女学院の使命と決意

創立150年のその先に向かって

フェリス女学院は、今の誰かによって提唱され、年2020年に創立150周年を迎えました。1870年、アメリカ改革派教会(RCA)の宣教師、メアリー・E・キダーが横浜の居留地にあって、たへボン塾のクラスを引き継ぎ、授業を始めました。これがフェリス女学院の始まりであり、日本の近代女子教育の発祥です。

1875年には山手17番に校舎を完成させて、Ferris Seminaryと名づけました。キダーを日々にパシフィコ横浜を会場として5000人規模で記念式典を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、中止を余儀なくされました。

関東大震災による校舎倒壊・焼失とジェニー・M・カイパー校長の殉職、アジア・太平洋戦争中の宣教師帰国、校名変更など、幾多の困難に直面してきましたが、150年にわたってキリスト教の信仰に基づく女子教育を一貫して行ってきました。

フェリス女学院のモットーは、**For Others**です。特定

フェリス女学院ミッションステートメント

フェリス女学院は、メアリー・E. キダーによる1870年の創立以来のパイオニア精神を尊び、キリスト教信仰に基づく“**For Others**”を教育の中心に据える。

フェリス女学院は、まことの自由と自律を尊重する教育を通して、絶えず他者を尊び、自己に誇りを持ち、広く多様な人々や社会と交流し、実りある豊かな社会や世界の平和とその発展に寄与する人を世に送り出す。

フェリス女学院は、社会環境の変化に自己変革をもって柔軟に対応し、いつの時代にも社会から信頼される教育研究機関になることを目指す。

た「ミッションステートメント」を公表することにしていました。式典での発表に代えて、公式ウェブサイトで発信しています。これは150周年以降のフェリスの新しい教育のビジョンと未来に向けての使命と決意を表わしたものです。現在、このミッションステートメントを実現するための「中期計画(2021〜2025年度)」を策定する作業が続いています。「教育の自己変革」の5年間と位置付け、学院、大学、中学校、高等学校、事務局が一体となって実現を目指します。

年、歴史を踏まえながら、新しい時代の教育のために仕えていきます。
星野 薫
フェリス女学院事務局

香蘭女学校 ヒストリーエリア完成



2020年に本校が創立130周年を迎えることができたこと、神様に感謝申し上げます。創立130周年を経た

今日、英国国教会の伝道者、校友生など本校に連なる多くの人達に、香蘭女学校を支援導かれた方々を憶え、後世に引き継いでいくために、学

者、校友生など本校に連なる多くの人達に、香蘭女学校を支援導かれた方々を憶え、後世に引き継いでいくために、学

ず、伝統ある学校は必ず自校の創立からの足跡を大切に、折に触れて後世に語り継ぐことを実践しています。本校でも新たに設置されたヒストリーエリアを通して、教職員、在校生、保護

キリスト教Q&A

—キリスト教の理解を深めるために—

なぜ十字架がキリスト教のシンボルなのか?

大藪 博 康

(名古屋学院宗教部長)

主イエスが十字架で殺され、「和解」が生じたからです。

神の独り子として主イエスはこの世に誕生し、教えを語りました。その教えは貧しく苦しむ人々に希望を与えました。しかしユダヤ教権力者たちにとっては危険な教えでした。主イエスはユダヤ教の掟を捻じ曲げている、神を冒瀆していると考えられたのです。権力者たちの訴えにより、主イエスは十字架で死んでいきます。

神の独り子、罪なき主イエスが十字架で死んだのです。

主イエスが死んだ時、「神殿の垂れ幕が上から下まで真っ二つに裂け」たと記されています。(マタイによる福音書27章51節) この幕は聖と俗を隔てるものでした。聖なる存在である大祭司のみが入れる場所が至聖所と呼ばれていました。一般の人は決して入る事のできない場所でした。その幕が裂けた。すなわち聖なるものと俗なるものとの隔ての壁がなくなった。分断がなくなり、和解が生じたということです。

主イエスが死んだ時、ローマの百人隊長が「この人はまことに神の子だった」と語ったと記されています。(ルカによる福音書23章47節) ローマの軍人にとって一人のユダヤ人の命など、取るに足らないものでした。しかしそのローマ人が主イエスの死を目の当たりにして、神の子であったと

語ったのです。ローマ人とユダヤ人の隔ての壁を越えて、百人隊長は主イエスを神の子と告白したのです。民族の壁、宗教の壁を越えて和解が生じたのです。

主イエスの十字架の死がもたらしたものは、神様と人間との和解であり、人間と人間との和解でした。主イエスの尊い犠牲の死によって、和解が生じたのです。神様と人間の分断、人間同士の分断は、もはやなくなったのです。主イエスの十字架は和解のシンボルです。

2020年度は新型コロナウイルス感染危機の中始まり、今もなお私たちは苦難の中にあります。「ステイホーム」「ソーシャルディスタンス」「自粛警察」「感染者への誹謗中傷」。私たちは人間の分断状況を生きています。そしてこの分断は人の心を傷つけ、恐れと不安と絶望の中に私たちを追い込んでいます。この分断の中、私たちが生き抜くために必要なことは、「和解」することです。やさしい気持ちで「和解」の言葉を語りあうことです。今こそ、キリスト教のシンボルである十字架を仰ぎ、その和解の出来事を信じて前進するのです。この分断の危機を生き抜くために、隣人との和解、隣国との和解、他民族との和解、他宗教との和解を求めて生きようではありませんか。



異例続きの今年度、月刊の本紙も次月は初の休刊で今号は10・11月合併

事務局だより

資料、校友生(卒業生)からの寄贈品等を展示することが出来ます。学校

史資料室としては今後ヒストリーエリアでの特別展を企画しています。

《香蘭女学校中等科・高等科教頭、学校史資料室

号となりました。次号発行は12月号です。

伝統校では史料の保存活用が重要な課題です。周年行事の一環として校史コーナーや資料館を整

備して創立者の信仰や困難な時代の取り組みを語り継ぎ、自校史を大切な教材とされています。

教育同盟も100年間の貴重な史料を保管しており、その整理保存に向けて昨秋にリスト作りを開始、現在8割程度進み、数は2千数百に達しました。先人からの貴重な史料が傷んで見られなくなる前に対処し、分類整理してキリスト教教育の研究、加盟校の年史作成の

※「公募欄」は2〜3面に掲載しています。

事務局

詳細は教育同盟ホームページかQRコードよりご覧ください。

一般社団法人キリスト教学校教育同盟「eラーニング」による教員免許状更新講習について

いつでも、どこでもインターネットで受講が可能です。

・キリスト教学校教育を主とした講座です。

・20年度申込受付は2月16日〜21年3月30日

・受講開始は4月16日

